

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム コスモス

(ユニット名) こでまり棟

記入者(管理者)

氏名 秋本 コマ子

評価完了日

平成 19 年 11 月 17 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3873900702		
法人名	有限会社 別当		
事業所名	グループホーム コスモス		
所在地	愛媛県宇和島市三間町黒川385-1 (電話) 0895-20-7211		
管理者	秋本 コマ子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年12月8日	評価確定日	平成20年1月28日

【情報提供票より】 (平成19年11月27日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成17年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤	16人, 非常勤 2人, 常勤換算 16.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	330 円	昼食 330 円
	夕食	340 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年11月27日現在)			
利用者人数	17 名	男性 4 名	女性 13 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名
要介護3	9 名	要介護4	3 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 74 歳	最高 90 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>月一回、一人ひとりに職員が暮らしの希望を聴く機会を作っておられる。利用者から食事のメニュー等について要望があり、反映されている。 外部研修に積極的に参加し、研修後は職員会で報告し、周知を図っておられる。又、講師を招き、介護保険の仕組みについて知識を深められる等、職員が学ぶ機会を作っておられる。 年一回の消防訓練を実施しており、災害時には地域の協力を得られるよう、自治会等に働きかけておられる。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受け、ご家族へ家族会便りを送付する等、事業所の様子を伝える取り組みを始められた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・管理者が自己評価に取り組みました。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議時に自治会長の方からの提案もあり、町が管理するコスモス畑を見学させていただいた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・毎月、利用者の表情がわかる写真等も載せた「家族会便り」を送付し、暮らしぶりや健康状態を報告されている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・そうめん流し、いも炊き、秋祭り等のイベントを事業所で開催し、地域の方々もお誘いする等、地域と交流できるよう努めておられる。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業所独自の理念をつくり、理念を理解・共有して介護の実践に繋げているが、特に地域密着型サービスとしての文言は盛り込まれていない		今後、地域との繋がりという意味においてどう利用者者の生活を支えていくかについても理念に盛り込みたい
			(外部評価)		
			地域との交流する機会を積極的に作り、ホームの理念の実践につなげておられる。		さらに、「地域密着型サービス」事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくかということについて、話し合う機会とされてはどうだろうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者は職員に日常的に話して具体化しており、職員は日々理念に基づいた介護の実践に取り組んでいる		
			(外部評価)		
			理念は、職員で話し合い、作られている。管理者とともに熱意をもって理念の実践に向け、取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			理念を入口すぐの壁に貼り付けて明示し、利用者家族や地域の方々や面会や行事などで来訪された際に分かりやすく説明している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 管理者、職員は近隣の方々と気軽に声を掛け合える雰囲気作りを徹底しており、近隣の方々にはとれたての野菜を持ち寄っていただくなど、友好的な関係を構築している		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の自治会や芋炊きなどの行事、清掃活動などに積極的に参加している (外部評価) そうめん流し、いも炊き、秋祭り等のイベントを事業所で開催し、地域の方々もお誘いする等、地域と交流できるよう努めておられる。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 現時点では利用者の支援で精一杯で、地域の高齢者の暮らしにまで考えが及んでいない		近隣地域でご家族の介護をしておられたり将来の介護に不安のある方々と共に介護について話し合ったり、職員のできる範囲で介護技術の講習会を開いたりなども検討したい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価の意義を理解しており、改善すべきと指摘された点については会議で検討し、具体的に改善策を実施している (外部評価) 管理者が自己評価に取り組みされた。前回の評価結果を受け、ご家族へ家族会便りを送付する等、事業所の様子を伝える取り組みを始められた。		サービス評価の仕組みを、貴事業所の質の向上に活かしていけるような取り組みが期待される。又、改善がむつかしいと感じておられる場合であっても、あきらめることなく協力者を募ったり、工夫等を重ねていけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2か月に1回のペースで運営推進会議を行っており、その都度地域の方々から貴重な意見をいただき、参考にしている		
			(外部評価)		
			会議時に自治会長の方からの提案もあり、町が管理するコスモス畑を見学させていただいた。		現在、会議出席者からの意見等は少な目で、事業所では今後、いろいろな方に参加していただけるよう、働きかけていきたいと話しておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			介護に関してわからないことがある際には、市の担当者の方に直接ご意見を伺うなどしており、サービス向上に活かしている		
			(外部評価)		
			日頃から市の担当者に運営について相談されたり、包括支援センターの担当者には、成年後見制度についての相談をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			市からいただいたパンフレットを回覧したり、わからないことについては市に直接伺ったり、会議の席で話し合ったりなどして、権利擁護に関する制度の理解と活用に努めているが、制度の複雑さや現実との矛盾などもあり、職員全員が理解・活用しているとは言い難い		制度の意味するものや具体的な利用方法を学べる勉強会・研修会を計画したい
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待が起きないように、また虐待が見過ごされないように虐待に関する法律や実際の事例を周知しており、会議で話し合ったり互いに注意を喚起し合って虐待防止に努めている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時・解約時には、わからないことがあれば細部まで質問をしていただくようお願いし、十分な説明を行って利用者や家族の不安や疑問を解消して理解・納得をしていただいている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段から利用者の声に耳を傾ける努力をしており、さらに相談部を設置して聞いた利用者の不満や希望について職員会議で話し合っており、同内容について運営推進会議の席でも議題として取り上げている		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 個々の利用者の一か月の暮らしぶりなどについて記した「家族会便り」を作成しており、毎月一日にそれぞれのご家族に送付している		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、家族会総会、目安箱などによって意見や苦情等を常時受け入れている		受け入れ態勢は整っているが、ご家族からの積極的な意見が少なく、特に現時点で目安箱には全くご意見をいただけていないので、率直にご意見をいただける環境作りについて再考したい ご家族の声の大切さを投げかけられたり、意見や要望等がいただけやすいような雰囲気作り等の工夫を重ねていかれることが期待される。
			(外部評価) 現在、ご家族からは意見や要望は少ない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の意見や提案は常時受け付ける体制があり、職員会議でその意見について討論している		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 常に十分な数の職員が確保できるよう勤務を調整しており、緊急時に補足できる臨時の職員も配置している		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動や離職は最小限に抑えており、利用者との持続的な関係維持に努めている		
			(外部評価) 異動や離職時には、引き継ぎ等をされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) あらゆる研修に出来るだけ参加するよう勤めており、研修参加後は会議で報告や意見交換の機会を設けている		
			(外部評価) 外部研修に積極的に参加し、研修後は職員会で報告し、周知を図っておられる。又、講師を招き、介護保険の仕組みについて知識を深められる等、職員が学ぶ機会を作っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			全国認知症グループホーム協会に加盟しており、同協会主催の研修会などの際に意見の交換を行なっている		近隣の他ホームとの交流ができるよう、包括支援センター主催のグループホーム連絡会にも出席する予定になっている
			(外部評価)		
			全国の事業所が集う機会や包括支援センター主催の連絡会を通じて、他事業所の活動状況や工夫等、他事業所の情報を積極的に収集できるよう努力されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			意見や不満を何でも言える職場を目指しているが、やむなく生じたストレスは日常的な雑談等で軽減している		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			個々の利用者に対する担当者制や、職員それぞれの個性を發揮するための部・係を配置していることで、それぞれ努力や実績が把握しやすい状況を作っており、その他日常的にも勤務状況を把握して向上心を持って働けるように努めている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居時には早く新しい環境に慣れてご自身の意見が言えるよう特に多く時間を割いて意見を個別に聞くようにしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族から相談があった時点で細部に至るまでの説明して不安の解消に努めており、入居以後も常時質問や相談を受け入れていることを確実に伝えている		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時点で本人と家族の最重要課題を見極め、他のサービス利用も含めた対応が実施できている		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬように馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人が安心してサービスを受けられるよう、まず職員や他の利用者との関係作りや環境になれる手助けからスタートし、徐々にサービスを進めている		
			(外部評価) 管理者、職員がご家族等とお話をされ、ご本人と面談をされてから入居するようになっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) ちょっとした手仕事をお願いしたり、昔の話をじっくり聞かせていただいたりなど、職員が助けていただく場面作りを心掛けており、一方的な介護を超えた信頼関係を築けていると思う		
			(外部評価) 利用者の方にお若い頃のお話を聞かせてもらうこともある。現在、介護度重度の利用者が多く、利用者との信頼関係は築けているようであるが、「共に支えあう」関係にはむつかしいこともあると考えておられる。		今後も、ご本人の自信や活力につながるよう、職員のかかわりについて工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族から話していただいた方が効果的と思われる場合には電話や直接お話ししていただいたり、できる範囲で外食・外泊等をお願いしたり、面会やイベントの際に楽しく過ごしていただける雰囲気作りを行っているが、無関心なご家族もおられ、認識不足を解消したいが現時点では解決していない		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご家族以外でも長くお付き合いのあるお友達があれば、いつでも来ていただけるようご案内しており、ご家族との外出の際にはなるべく馴染みの理髪店や飲食店などを利用していただくようお願いしている		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 孤立しそうな利用者には歌やゲームなどのレクリエーションを使って輪の中に入れてもらえるよう工夫し、利用者同士の口論の仲裁をしたり、可能なら利用者が他の方の面倒を見る場面を作ったりしている		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居(契約終了)後もご家族、病院、他施設と連絡して状況を把握するよう努めており、相談があればすぐに対応できる体制を作っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日常的な利用者の声に耳を傾ける努力と相談部の活動で利用者個々の意向を把握できるよう努めており、個々のケースについて職員間で協議し、実現へ努力している		
			(外部評価)		
			月一回、一人ひとりに職員が暮らしの希望を聴く機会を作っておられる。利用者から食事のメニュー等について要望があり、反映されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者個々の生活歴やサービス利用経過等は入居前の相談時に詳しく聞いており、それらを記した書類に加え、入居後もご本人やご家族からの聞き取りを持続して情報を補足している		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者個々の生活・介護状況、心理・健康状態などについては、ケアプラン・経過記録・バイタルチェック帳・手仕事&レク帳・連絡帳などに詳しく記載しており、総合的に判断しつつサービス担当者会議や定例会議で改善策を検討している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ケアプラン作成の際には各項目を職員間でその都度サービス担当者会議で話し合い、必要な場合にはご家族や医師などに相談したりしているが、無関心なご家族にはケアプランを見て承諾してもらうのみになっている		
			(外部評価)		
			現在は、担当職員と数名の職員で介護計画を作成されている。		ご本人の暮らしを支えるための計画について、ご本人やご家族の意見を十分に採り入れ、作成することが期待される。又、介護計画を日々のケアにつなげられるよう、記録等も含め、仕組み作り等について話し合う機会とされてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			見直し時期であるか否かに関わらず、ケアプランに見直しの必要が生じた場合、その都度サービス担当者会議を行って現状に即したプランに修正している		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとのスタッフミーティング時、介護計画を見直しておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケアプラン・経過記録・バイタルチェック帳・手仕事&レク帳・連絡帳などを職員誰もがいつでも見られるようにしてあり、それらの情報を元にサービス担当者会議や定例会議でプラン見直しを検討している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況、その時々要望に応じた柔軟な支援を行なっている		
			(外部評価)		
			外泊時の送り迎え、お墓参り、自宅訪問、買い物等、利用者の要望に合わせて対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員の方が来館された際にお話していただいたり、災害訓練の際に消防署員の方々に協力していただいたりはしているが、特に利用者から地域資源への協力要望などは現時点では把握していない		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特定の利用者についてわからないことがあれば以前利用されていたサービス事業者やケアマネジャーにお話を伺うことはあるが、他のサービスを利用するための支援は特に行っていない		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 成年後見制度の活用などについて地域包括支援センターにうかがって相談など行っている		相談は行ったが、結果的に解決策が見当たらないため、何らかの方策を講じたい
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人と家族の意向を重視し、以前からのかかりつけ医とホームの担当医を選択してもらっている (外部評価) 24時間対応可能な医療機関と提携し、対応しておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 周りに認知症の専門医、もしくは認知症に詳しい医師がおらず、健康上の問題は医師に相談するが、認知症に関する問題は職員それぞれが学び続けることで対処している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 通院時に利用者をよく知る看護職の方に意見を伺ったり、現在の生活の様子についてお話したりなどしており、その中から支援のヒントをいただいている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時に安心して過ごせるよう、あるいは早期退院に向けて最善の策をとれるよう、医療機関と連携がとれている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) そもそも他のホームにくらべて重度の利用者や終末期に近づいた利用者を多く受け入れているため、入所前の相談の段階から本人、家族、医療機関と話し合っ方針を共有している (外部評価) 介護度重度の利用者の入居もこころよく受け入れておられ、利用契約時に、終末期の意向についても話し合われている。ご家族や他の利用者の方達に見守られ、最期を迎えられた事例もある。		さらに、ご本人を中心に事業所とご家族、医療機関が協働していくためにも、事業所が看取りや重度化について、どのように取り組むかという指針を示されてはどうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 前項のとおり重度化や終末期の利用者に関する職員の経験が豊富であるため、できること・できないことの見極めや医師と連携したケアが可能になっており、今後の変化についても随時サービス担当者会議などで検討・準備している		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替え時には必要な情報をすべて伝え、さらに住み替えのダメージを防ぐための話し合いを行なっている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者個々の人格を尊重し、声かけ、働きかけに注意している</p>		
<p>(外部評価)</p>					
<p>職員は、利用者に対してやさしく対応されていた。</p>					
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者それぞれの思いを率直に言っていただける環境作り、わかる力に合わせた説明、意思の尊重に留意して支援を行っている</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>集団生活を送るうえで必要不可欠なレベルの決まりなどは守ってもらっているが、なるべくそれぞれの希望にそった支援を心掛けている</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>食事時間や歯磨きのタイミング等、ご本人の希望や持てる力に合わせて、それぞれのペースを大切に支援されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<p>(自己評価)</p> <p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>起床時に一日どの服を着て過したいか必ずご本人に尋ねるなどして身だしなみに関するご本人の意向を尊重しており、行きつけの理髪店・美容院がある方はそちらを優先し、ない方はホームが選んだ店の方に出張していただいている</p>		
54	22	<p>(自己評価)</p> <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>(外部評価)</p> <p>衛生面やご本人の意向もあり、現在は、職員が中心で食事の準備等をされている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>栗や里芋など季節の食材はなるべく利用者の方々に皮をむいていただいたり、食前にお茶を配っていただいたり、食後の台拭きをお願いしたりなど、それぞれの力や意向に合わせてお手伝いしていただいている</p>		<p>利用者を中心とした暮らしを支援するためにも、食事一連のあり方について、事業所で工夫できることはないか話し合ってみてはどうだろうか。</p>
55		<p>(自己評価)</p> <p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現時点ではお酒やたばこは禁止しており、おやつは健康上の理由からみんなと一緒にのもの以外は最小限にしてもらっている</p>		
56		<p>(自己評価)</p> <p>気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>自立に向けた支援を目指す意味において、なるべくテープ式おむつを避けてリハビリパンツと尿とりパッドを利用するようにしており、排泄パターンの把握によって使用を少しでも減らせるよう努力している</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			すべて利用者の希望どおりというわけにはいかないが、なるべくご本人の意向と職員の都合を折り合わせて入浴していただいている		
			(外部評価)		
			体調を考慮し、ご本人に聞きながら支援しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			就寝・起床時間はご本人の習慣を尊重したり、使い慣れた寝具を使っていたりなど、安心して休んでいただけるよう支援している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			それぞれの能力や好みに合わせた手仕事などをしていただいたり、趣味の支援やレクリエーションなどによって気晴らしの支援をしている		
			(外部評価)		
			他の利用者の洗濯物もたたんで下さる方もおられる。重度の利用者が多く、役割や楽しみごとの機会は少ない目である。		さらに、ご本人の生活歴を活かしたり、ご家族とも相談、協力いただきながら、ご本人の生活の張り合いや楽しみごとを積極的に支援していかれることが期待される。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご本人がお金を持つことの大切さは理解しているが、認知症であるがゆえにお金を持たせられないケースもあり、認知症の度合いに応じて一定のお金を預かって一緒に買い物したりなど、最大限の努力はしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			日常的な日向ぼっこや散歩以外には、職員に余裕がある場合に限定して希望に合わせた外出を支援しており、その他はご家族に外出・外泊をお願いしたりなどしている		
			(外部評価)		
			庭先で日向ぼっこされる方や散歩や買い物に出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節に合わせて桜、コスモス、チューリップ見物などの機会を作っているが、まだご家族の参加は実現しておらず、ご家族に利用者を連れて外出していただくに留まっている		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			特に電話や手紙等の制限は設けておらず、利用者から電話の要望があれば取り次いだり、便箋や葉書を用意したり字を書くのを手伝ったりなどしている		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問していただけるよう働きかけており、その雰囲気作りも努力している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は一切行っていない		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室や玄関に鍵をかけることの弊害は全員が理解しており、鍵をかけないケアに取り組んではいるが、最低限の安全に留意して玄関はナンバー式の自動ドアを使用している (外部評価) 玄関は、安全のこともありナンバー式の自動ドアになっている。		利用者の個別で細やかで自由な暮らしを支援することがグループホームの良さでもある。職員の工夫等を持ち寄り、利用者個々が自由に過ごすことができるような環境作りが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーへに留意して利用者が不快にならないよう注意しながら、安全に配慮しつつ常に見守りを行っている		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物品でも生活の一部として必要なものは目に付くところにでも置いており、利用者にもその都度注意を喚起することで危険を防いでいる		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 消防訓練を年に一回実施しており、その他は常に見守りを徹底することと緊急対応マニュアルなどで事故防止に取り組んでいる		医療従事者による講義など、医療行為に準ずる事故防止の知識について学べる機会を作りたい

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 特に応急手当や初期対応の定期訓練は行っていないが、緊急対応マニュアルの閲覧と衛生部職員の助言によって日々学んでいる		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年一回の消防訓練を実施しており、地震に対する訓練も来春から実施する		災害に関しては地域の方々との協力関係は話し合っていないので、今後提案していきたい
			(外部評価) 年一回の消防訓練を実施しており、災害時には地域の協力を得られるよう、自治会等に働きかけておられる。		いざという時、利用者全員が安全に避難できるよう方策について、さらに話し合いを重ね、実践してかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 抑圧感のない生活を送るためにはある程度の危険は避けられないことについてご家族に説明しており、職員が安全に配慮して見守りつつ利用者本意の生活が送れるよう支援している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 体重は月一回、体温と血圧は毎日計測、その他の身体的異変については見守りで対応しており、異変に気付いた際の迅速な情報共有・対応を徹底している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 個々の薬に関する情報は説明書を利用者個々の経過記録に添付し、その都度閲覧することで理解・確認している</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 食物繊維の多い食材を使ったメニューや軽い運動などで便秘予防に取り組んでおり、個々の利用者の排泄記録を作成し、それを参考にしながら対応している</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 口腔内の清潔維持のため、毎食後の口腔ケアは必ず行うよう働きかけている</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 食事チェック表の記入・閲覧によって食事量を把握しており、水分はご本人の習慣に合わせつつなるべく多く摂っていただけるよう努力している</p> <p>(外部評価) 食事制限のある方等は、医師に相談される等、アドバイスをいただいている。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) インフルエンザの予防接種はご本人の意向を尊重しつつ行っており、ノロウイルス等の感染症予防は清潔保持の徹底を行うことで対応している</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所や調理器具の衛生管理と新鮮・安全な食材の使用・管理を徹底しているが、その一方で清潔保持が難しい利用者には調理や後片付けを手伝っていただけない現状があり、対応に苦慮している</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族や近隣の方々がいつでも出入りできるよう昼間の施錠は行なっておらず、内からはナンバー式の自動ドアで開くため、利用者の出入りには職員が付き添うことで対応している</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有空間の衛生保持を徹底したうえで、季節の花を飾ったりなどして居心地よく暮らしていただけるよう工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>畳の部屋には、ソファが設置されており、廊下に置かれた長いすでも利用者がくつろいでおられた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂のテーブル、テレビ室のソファ、その他ベンチや椅子などを工夫して配置しており、利用者個々の意向に合わせた居場所の充実を図っている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			常設の家具はベッドとタンスのみで、その他の家具 (椅子、仏壇、衣装ケースなど)はご本人の馴染み のあるものを使っていたりしている		
			(外部評価)		
			利用者の希望で畳に布団を敷いておられる居室も見受 けられた。ご本人の使い慣れた家具を持ち込まれてい る方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気扇や窓の開閉で換気をしており、冷暖房は利用者 の意向を尊重しつつ使用を最低限にとどめるよう配慮 している		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下に手すりをつけることで介助しなくてもご本人の 力で歩く練習ができたり、口腔ケアの道具をはじめ生 活に必要な物品はなるべくご本人の手の届く場所に置 いて、ご自身の意思で行動していただけるようにして いる		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			利用者個々の理解力に差があるため、それぞれに合わ せた方法でじっくり話しかけることで混乱や失敗を防 げるようにしている		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			日向ぼっこの際に畑の野菜や花壇の花が見えるよう にしてあり、花を植えるのを手伝っていただいたりも している		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中でそれぞれの思いを聞く場面を作っており、その都度じっくり向き合っており、さらに相談係が希望や不満を率先して聞くようにしている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	10:00と15:00をお茶の時間にしており、その際に利用者と職員が一緒のテーブルについてくづるぐようにしており、その他にもテレビを観ている利用者の間に入って話かけたりなどもしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間も食事間隔も全くわからない利用者や昼夜が逆転してしまいがちな利用者がおられるので、最低限の規則には従っていただいている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	現状認識が全くできない方や知能遅滞のある方、感情の浮き沈みが激しい方などは、支援の意図が理解できない場合がある
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	そもそも「どこどこに行きたい」という希望の少ない利用者が多いのも一因だが、職員の動ける余裕が限られているため、たまにしか外出に同行することができず、ご家族との外出で補っていただいている状況である
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員、医師、ご家族の連携で、バイタルチェック、通院、往診、服薬管理などは万全の体制にあり、そのことを利用者にも理解していただいている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全く支援不可能な要望を除き、100%実現できなくても希望に近づける努力は行なっている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	信頼関係はできていると思うが、利用者の状態に無関心なご家族など、あまり意見すら言われない方もおられる
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③たまに 4 ほとんどない	特定の方は来られているが、地域の閉鎖的な特性もあってか、現時点ではご家族以外の来訪者の数に限りがある

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議によって自治会等には協力していただいているが、個々の方々はそれぞれに認知症に対する理解度にも違いがあり、一足飛びに応援が増えるという状況には無い
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) ① ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チームとしての結束力があり、さらに個性を生かしたケアの役割分担ができているので、それぞれが最大限の力を発揮している
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	たまに一部の利用者が食事の好み等で不満を抱かれたり、退所できる状態にないことを理解できずに一人暮らしを希望されたりといったケースはある
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会、家族会、イベント時等に来館される際、現在の利用者の状態を大変喜んでおられる方がほとんどである

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

認知症の利用者と一括りに言っても、介護度が重度である方、全盲の方、知能遅滞の方、鬱病を抱えておられる方など、性格としての個性と同様に、認知症以外に抱えておられる症状にもそれぞれに違いがありますが、当ホームでは間違いなく「どんな方でも」受け入れ、「どんな方でも」みんなの輪の中に入って楽しく生活ができるよう支援しています。それぞれがご自身の持つ力を使って自立への道を進んでいけるよう利用者の声に「逆らわず従わず」、職員が利用者を助け、利用者が職員を助け、利用者が利用者をお互いに助ける、そんな助け合いの介護を目指し、実践しています。今後は、利用者のご家族、近隣地域、包括支援センター、医療機関などとの連携を深めて、「地域密着型」により近づいていけるよう努力していきます。